



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ
WEEKLY REPORT

2009～2010 年度 高山中央 RC 会長テーマ 「 聞・思・修 」

◆会長 橋本 修 ◆幹事 岩垣津 亘 ◆会報委員長 長瀬 栄二郎 ◆会報担当 足立 常孝

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 819 回	50 名	45 名	41 名	—	91.11%
前々回 817 回	50 名	45 名	39 名	4 名	95.56%

<点 鐘> 会長 橋本 修
<ソング> 奉仕の理想

<本日のビジター>
高山西 RC 鍋島 勝雄 様

<会長の時間> 会長 橋本 修

- ① 先週タイガーウッズのことを誉めたばかりなのに、交通事故の第一報から思わぬ展開となり話題提供のタイミングのよさにびっくりしております。本日配布されましたが、ガバナー月信及びロータリーの友に“高校生 LIVE in 高山”のことが記載されています。(雑誌・広報委員長)
- ② R I 会長賞
(熱の冷めない早い時期に)
(予算化・行事に入れる・目標) (予算組む)
(低会費にて参加しやすい)
- ③ 20 周年 (中央 RC ソング作り) (作詞募集する)
(作曲 高木 純)
- ④ 高山市青少年育成市民会議活動費 30,000 助成金の中から
第 26 回家庭スナップ写真展 12/4～12/6 54 点
第 18 回家庭の日図画展 12/4～12/6 55 点
後援 ・高山市
・高山中央 RC
特別賞 ・小学生の部 西小 5 年 垣内 理菜
・中学生の部 松中 2 年 吉崎 絵里奈
・写真の部 朝日町 石原 力
[うめえなあー田植えの後は]
- ⑤ 12 月は家族月間

1 月 8 日 (金)

新年例会は、夫婦同伴例会、奥様方に出席要請

6 月 28 日 (月)

お別れ例会、予定を大幅に変更して家族同伴例会にしたい、プログラム委員会中心に企画
昼間は例年通り、ゴルフは実施
1 年半振りにセブンスター発表 (成果) [坂家君のパフォーマンス] 期待してください



<幹事報告> 幹事 岩垣津 亘

- ◎R I 本部より
 - ・ロータリアン誌
- ◎国際ロータリー第 2630 地区 ガバナー事務所より
 - ・ガバナー月信 12 月号訂正のお願い
 - P14 伊勢南 RC 月末会員数 16 → 46
増減数 -31 → -1
- 高山西ロータリークラブより
 - ・例会変更・休会のお知らせ
 - 1 月 1 日 (金) 休会 法定休日
 - 1 月 8 日 (金) → 1 月 9 日 (土) 18:00～
- 日本ロータリー親睦ゴルフ大会 実行委員長より
 - ・第 21 回沖縄大会のご案内
 - 日時: 3 月 15 日 (月) 8:00 スタート

会場：琉球ゴルフ倶楽部

登録料：15,000 円

<飛騨高山国際協会より>

- ・ 中日交流サロン～クリスマス会～

日時：12月23日(水) 13:30～15:30

場所：高山市役所市民ホール

- ・ 国際ビジュアルアートコンクール作品の募集

応募締切り：1月29日(金)

開催：5月25日～29日

会場：フランス・トロワ市

<会報>

- ・ 美濃加茂RC

<年次総会>

橋本 会長

次年度の役員を一ヶ月間例会会場に掲示させて頂きましたが、一軒も異議がありませんでしたので、承認されたものとみるご報告をさせていただきます。次年度の役員の皆様よろしくお願いたします。

<本日のプログラム>

プログラム委員会

坂之上 健一委員長

本年度の会長の方針で、新入会員の皆様にスピーチをいただく企画が沢山ありますが、本日も3名の方々よろしくお願いたします。



新会員スピーチ

水川 巧 会員

ロータリークラブに入会させていただいて五ヶ月がたちました。毎週の例会、その他の大会などに参加をすることで、様々な体験をさせていただきました。

その体験の中から私の感じたことを少しだけお話をさせていただきます。

7月19日岐阜市で開催された、会員増強セミナーに、伊藤様、高木様、中田様、下田様と5人で参加をさせていた

だきました。私は新入会員という立場で参加をしましたが、一番強く感じたことは、会員の数が、2630 地区、全国的にも見事な右肩下がりで減少しているということを知り驚きました。このまま会員増強を行わなければ、自然減で10年後には、半減してしまう危険性がある、それが現実であることに更に驚きました。だから今会員の増強が急務である、現在の会員を退会させないこと、新しい会員を入会させることが必要であることが良く理解できましたセミナーでした。



8月3日親睦委員会担当の、納涼例会で西徳山荘までの登山に参加をさせていただきました。山を甘く見ていた自分と、自分自身の体力が予想以上に衰えていることを、知ることになりました。山を登って行く途中では、散策コースを選んでおけば良かったと少し後悔をしながら西徳山荘をめざしました。しかし頂上で見たその絶景は、想像以上で爽快な気分させてくれました。硬い話ばかりの例会や酒を飲む例会だけではなく、体を動かす健康的な例会も必要ではないかと強く感じました。

10月3日インターフェイスミーツに参加をさせていただきました。一番強く印象に残っていることは、懇親会の席上で、飛騨の祝い唄めでたが、会場中に響きわたったことです。飛騨で宴会をしているかと錯覚するくらいで、とても感激をしました。次年度開催は高山でやるという意気込みが十分伝わりました。

10月30日～11月1日の二日間、伊勢市で開催された2630地区の地区大会に参加をさせていただきました。二日間を通して幹事さんの仕事の大変さが良くわかりました。

小泉純一郎元総理の記念講演の中で、佐藤一斎の(三学戒)

「少に(若く)して学べば、則ち壯にして為すことあり。壯にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず。」を引用されて、生涯教育、生涯学ぶという姿勢を持ち続けることの大切さ、まさにこれが、ロータリー活動そのものであると話されました。

生涯学ぶという姿勢を持ち続けることは、なかなか難しいことですが、ロータリーへ入会させていただいたことで、学ぶ機会も増え自分自身を高めるためにも、積極的に今後例会、その他の大会、セミナーなどに参加をしていきたいと思っております。

周 信夫 会員

ロータリーに入会して思う事

RC に入会して半年しか経っていないのでクラブが自分に役立つのか実感はまだありません。素晴らしい先輩の皆さんと親交を深め合う中で今後の活動に期待したいと思います。人間は一人では生きていけません。周りに助けられ、そして自分が活かされていきます。人生をより充実したものにするには沢山の人達とふれあい、学ぶ必要があると思います。たった一度きりの人生です。RC を通じて、楽しく仲間を増やし、(これは容易でしょう。) 社会的に賞賛されるような自分を築き上げたいと思います。(これは努力が必要かも?)



学校には卒業があります。落第しないよう一生懸命勉強しました。でも卒業したら勉強しません。(笑) RC には卒業がありません。卒業が無いので一生勉強もできるし、落第も無いので遊ぶ事もできます。究極の文武両道でしょう。(笑) ロータリアンとして自分なりに肩肘張らずマイペースで頑張って参りたいと思います。どうか皆様方のご指導よろしく願いいたします。

都竹 太志 会員

今回 3 回目のスピーチになる。前回 2 回は課題を与えられ、今回の課題は自由ということである。中々、こういった場で自由にスピーチをなささいというのは辛いのもである。趣味についてといわれても、今はゴルフをするでもなく、続けていた水泳もご無沙汰である。日々、仕事と家を往復し、YEG や法人会があれば参加し、友に誘われれば飲みに行き、日曜日は先ずもって家族サービス。数多くの色々



な趣味を堪能されている方々を拝見すると羨ましく思うところがあるが、思うだけで全く行動に移さない自分がある。本当に思っていないのであろう。正直、何も持ち得ないつまらない男だなと感じる時がある。

さて、そこで今回のスピーチは何を話そうか。先般、ある方が本を必ず毎日一冊読まれると言われた。その時間があるのか、何としてでも時間を作られているのか、そこまでの質問はしなかったが、どちらにしても続けること、その時間を作ること、どれをとっても敬服に値する。

私も多少の読書の時間を設けておるが、その中で、砕けた余り悩まずに読めそうな本として、嶋田紳助を題材にした本で、すこしい話があったのでご紹介したい。改めて言う程の話でもないが、殺伐とした中、日頃、家族・社員その他大勢の方々とは接する中で気をつけたいと思う一節である。

- ・なぜ人々は嶋田紳助の話に共感するのか？

紳助のトークにおけるポリシーは‘正直に言う’ことにある。

面白いかつまらないか、美味しいか不味いか、綺麗かそうでないか、自分で感じたり思ったりしたことは、そのまま口にする。

- ・この考え方の延長線上に、涙を流すこと、感動した・嬉しい等と素直に言う姿勢がある。

彼は自分の感情をストレートに言葉として表す。ここで注意したいのが、感情的な物言いをするわけではない。感情が高ぶりそのまま口調に出ることはない。感情を表すという意味では主観的なのだが、伝えようとする声そのものは客観的である。

- ・区別はするけど、差別・偏見はない。

何かしらの言い分を抱えているゲストが来れば、紳助が代弁者となって、本人には言い辛い、苦しい胸のうちの語ることも良くある。世間の偏見や誤解を解こうとする。このような細かな気遣いが、彼を単なる口の悪い司会者に留めない最大の要因で、慕う人間が多く集まる。

- ・経験でしゃべり、自分を出すから心に伝わる。

本などで読んで頭に記憶した素材は、とっさの時に、スムーズに口から出てこない。

経験したことは、心に記憶したものだから、話す時には経験した当時の感情も蘇り、その感情も合わせて伝えることが出来る。知識だけでしゃべらないからこそ、彼の言葉は誰の心にも届く。

経験からきた心伝わるようなトークをできるような数多くの経験をこのロータリーを通して踏んで活きたいと存じます。

<12 月のお祝い>

<会員誕生日>

三浦 和美 12月 1日
永田 富次 S13年12月 7日



お誕生日を祝して

<夫人誕生日>

中田 専太郎 和子 12月 9日
水川 巧 由美子 12月10日
渡辺 修治 珠恵 12月14日
下田 徳彦 尚子 12月16日
津田 久嗣 恵美子 12月19日
大保木正博 須美代 12月23日

<結婚記念日>

糸藤 和夫 S46年12月 1日
水川 巧 S56年12月 2日
三輪 義平 S29年12月19日

<ニコニコBOX>

久しぶりに出席させて頂きました。

高山西RC 鍋島勝雄様

高山西RC 鍋島勝雄様のご来訪を歓迎申し上げます。
今月に入り、益々寒くなりました。風邪などひかれない
よう皆さん気を付けて下さい。

理事役員一同

高山西RC 鍋島様ようこそおいで下さいました。31
日の夜頑張ってください。前半戦が終わろうとしています。
健康体に感謝して。

橋本 修

高山西RC 鍋島勝雄様 お久しぶりです。ようこそ高
山中央RCへおいで下さいました。今年もわずかとな
りましたが、健康に気を付けて頑張りましょう。

松之木 映一

12月2日 28回目の結婚記念日にケーキを頂きまして
ありがとうございました。

水川 巧

先日、結婚記念日にケーキをありがとうございました。
初めての記念日でした。 早退します。

永田 富次

早退します。

道下 利一

RI会長賞受賞祝賀会に参加の皆さんご苦労さまでし
た。

会費の残りをニコニコへ。

参加者一同